

インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)
 <為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)
 追加型投信 / 内外 / 株式

四半期運用報告レポート

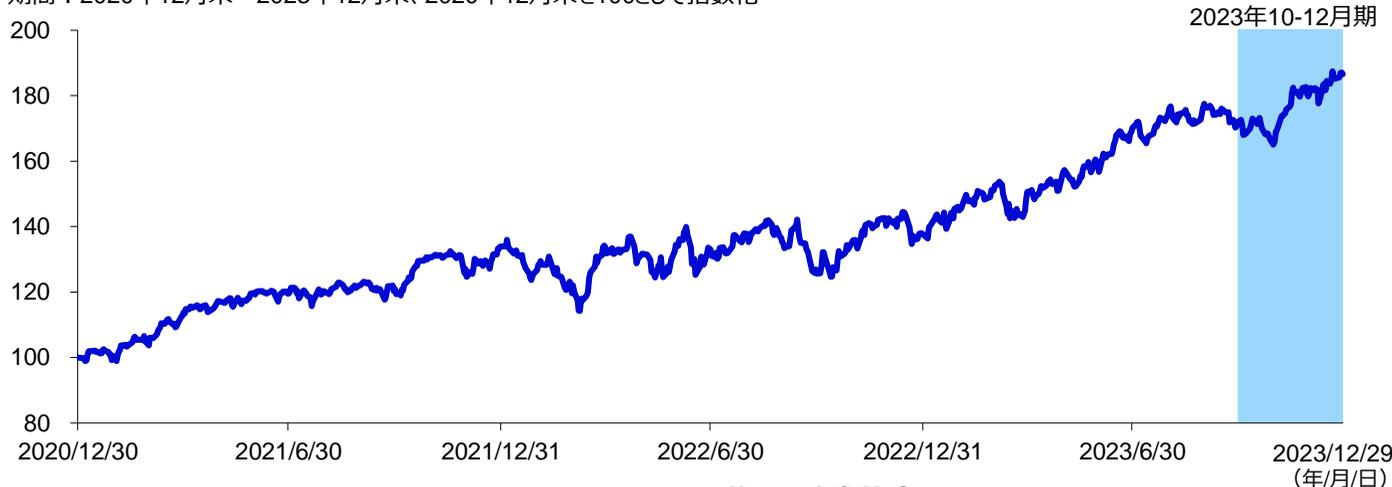
2023年10-12月期の振り返り

- 変動性の高い相場展開の中、インフレ鈍化が明確となったことや米連邦公開市場委員会（FOMC）で、2024年の利下げ実施が示唆されたことなどが好感され、株式市場は堅調な展開となりました。その中、当ファンドの<為替ヘッジなし>（毎月決算型）のパフォーマンスは、8.56%の上昇となりました。
- 資本財・サービス・セクターやAI（人工知能）関連（情報技術セクター）、投資会社（金融セクター）などの銘柄がプラスに寄与しました。加えて、ベルギーの特殊化学品などを販売する会社、米国の不動産投資信託やイタリアのヘルスケア会社など様々な国・地域やセクターの銘柄選択が基準価額の上昇に貢献しました。
- 景気動向に左右されず持続的な成長が期待できる①競争優位性の高い企業②安定性の高い事業を展開する企業③継続的な配当や増配などの質の高い配当を行うことが期待できる企業を選好して投資を行う方針です。

1. 当ファンドのパフォーマンス（2023年10-12月期）

<為替ヘッジなし>（毎月決算型）の基準価額（課税前分配金再投資）の推移

期間：2020年12月末～2023年12月末、2020年12月末を100として指数化



期間別騰落率 2023年12月29日現在

- 2023年10-12月期の世界株式市場は、引き続きインフレや主要中央銀行の利上げの動向などを巡り、変動性の高い相場展開となりました。
- イスラエル・パレスチナ紛争激化に対する警戒感が高まる局面がありましたが、米国のインフレの鈍化が明確となったことや米連邦公開市場委員会（FOMC）で、2024年の利下げ実施が示唆されたことなどが好感され、株式市場は堅調な展開となりました。
- そのような市場環境下、当ファンドの<為替ヘッジなし>（毎月決算型）の同期間のパフォーマンスは、8.56%の上昇となりました。

	2023年 10-12月期	1年	3年
<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8.56%	35.30%	86.55%
<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	10.57%	18.90%	30.70%
<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	8.61%	35.35%	86.37%
<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	10.57%	18.95%	31.10%

出所：インベスコ グラフデータおよび騰落率は、基準価額（課税前分配金再投資）の信託報酬控除後のものを使用しています。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。当資料では、「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり>（毎月決算型）/ <為替ヘッジなし>（毎月決算型）」および「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり>（年1回決算型）/ <為替ヘッジなし>（年1回決算型）」を総称して「当ファンド」または「世界のベスト」という場合があります。また、決算頻度に応じてそれぞれ「毎月決算型」、「年1回決算型」、為替ヘッジの有無に応じてそれぞれ「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」の呼称を使う場合があります。当ファンドはインベスコが運用を行います。インベスコは、インベスコ・リミテッド並びにインベスコ・リミテッド子会社および関連会社からなる企業グループで、グローバルな運用力を提供している独立系資産運用会社です。

当資料ご利用の際は、最終頁の「ご留意いただきたい事項」をお読みください。
お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

2. 当ファンドの運用状況 (2023年10-12月期)

主に、資本財・サービスや情報技術におけるAI（人工知能）関連、投資会社などの銘柄がプラス要因に
様々な国・地域やセクターの個別銘柄選択も基準価額の上昇に貢献

- 市場では、AI向け半導体の需要期待の高まりやAI関連事業の伸びが好感されたことなどから、半導体メーカー「ブロードコム（米国、情報技術）」や「BEセミコンダクター・インダストリーズ（オランダ、情報技術）」、ソフトウェア開発企業「マイクロソフト（米国、情報技術）」などの株価上昇が基準価額の上昇に貢献しました。また、投資会社では、ディスカウントチェーン等を保有する「3iグループ（英国、金融）」や幅広い資産を取り扱い、世界的にビジネスを展開する「KKR&Co Inc（米国、金融）」などの株価が堅調に推移したことが基準価額の上昇に寄与しました。
- 加えて、特殊化学品や食品原料の卸売・販売を行う「アゼリス・グループ（ベルギー、資本財・サービス）」、通信用不動産（通信タワー）の運営と開発に携わる不動産投資信託「アメリカン・タワー（米国、不動産）」、ジェネリック薬と希少疾患薬の2つの事業を行うヘルスケア企業「レコルダティ（イタリア、ヘルスケア）」など様々な国・地域やセクターの個別銘柄選択も基準価額の上昇に貢献しました。
- 一方、ロイヤル・ユニブリュー（デンマーク、生活必需品）やレキットベンキナー・グループ（英国、生活必需品）など、生活必需品の銘柄がマイナス要因となりました。



主な投資行動と着目点

↑ 組入を引き上げた銘柄の例

アマゾン・ドット・コム（米国、一般消費財・サービス）

配当利回り：-

米国のEコマース企業。コロナ禍のキャッシュフローのマイナスとクラウド・コンピューティング・サービスを提供するAWS（アマゾン・ウェブ・サービス）の成長懸念などから同社の株価は低迷。一方、世界No.1のクラウドシェアを誇るAWS*は、過去に巨額の先行投資を行ってきたことから、高い参入障壁を持ち、今後はコスト削減と設備投資の減速によりキャッシュフローは大幅な改善が見込まれると判断。バリュエーションの魅力が高まったことから、新規に組み入れ。

テキサスインス・インスツルメンツ（米国、情報技術）

配当利回り：2.9%

アナログ半導体製造に強みを持つ米国の半導体企業。今後業績の回復やフリーキャッシュフローの改善が見込まれると判断。株価は非常に割安な水準であることから、追加で組み入れ。

LVMHEIA（ルイ・ヴィトン）（フランス、一般消費財・サービス）

配当利回り：2.9%

世界最大手のラグジュアリーブランド・グループ。ルイ・ヴィトン、モエ・シャンドン、ティファニー、フェンディ、クリスチャン・ディオールなど有名高級ブランドを傘下に持つ。同社の持つ強力なブランド力と競争優位性、これまでの効率的な資本配分と事業拡大実績を持つ優秀な経営陣を評価し、追加で組み入れ。

↓ 組入を引き下げた銘柄の例

ノバルティス（スイス、ヘルスケア）

スイスに本拠地を置く世界的な製薬会社。株価の上昇を受け、十分に利益を獲得することができたことから、より魅力的な投資機会に資金を移すため、全売却。

コネ（フィンランド、資本財・サービス）

エレベーターおよびエスカレーターの製造・設置会社。同社の中国事業において、不動産の低迷の影響を受けていることや、土地売買や新築着工に懸念があることから、他のより魅力的な投資機会に資金を移すため、全売却。

ソニーグループ（日本、一般消費財・サービス）

日本の電子製品メーカー。ゲーム、音楽、映画、エンターテインメント・テクノロジー&サービス、イメージング&センシング・ソリューション、金融など幅広い事業を展開。株価上昇により十分利益を得たと判断したことに加え、現在はプレイステーションのサイクルは成熟しつつあり、自社ゲーム開発にも苦戦している点や、イメージセンサー事業が市場予想以上に悪化していることなどから、より魅力的な投資機会に資金を移すため、全売却。

* 2023年1-3月期 出所：インベスコ、ブルームバーグ、各社開示資料 配当利回りは2023年12月末現在 国・地域は、発行体の国籍（所在地）などで区分しています。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。ベンチマークは、<為替ヘッジあり>：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）、<為替ヘッジなし>：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。上記銘柄への投資を推奨・勧誘するものではなく、当ファンドにおける将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。銘柄例についての記載は、作成時点において確認可能な情報に基づき記載しています。上記は2023年12月末時点における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。

当資料ご利用の際は、最終頁の「ご留意いただきたい事項」をお読みください。

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

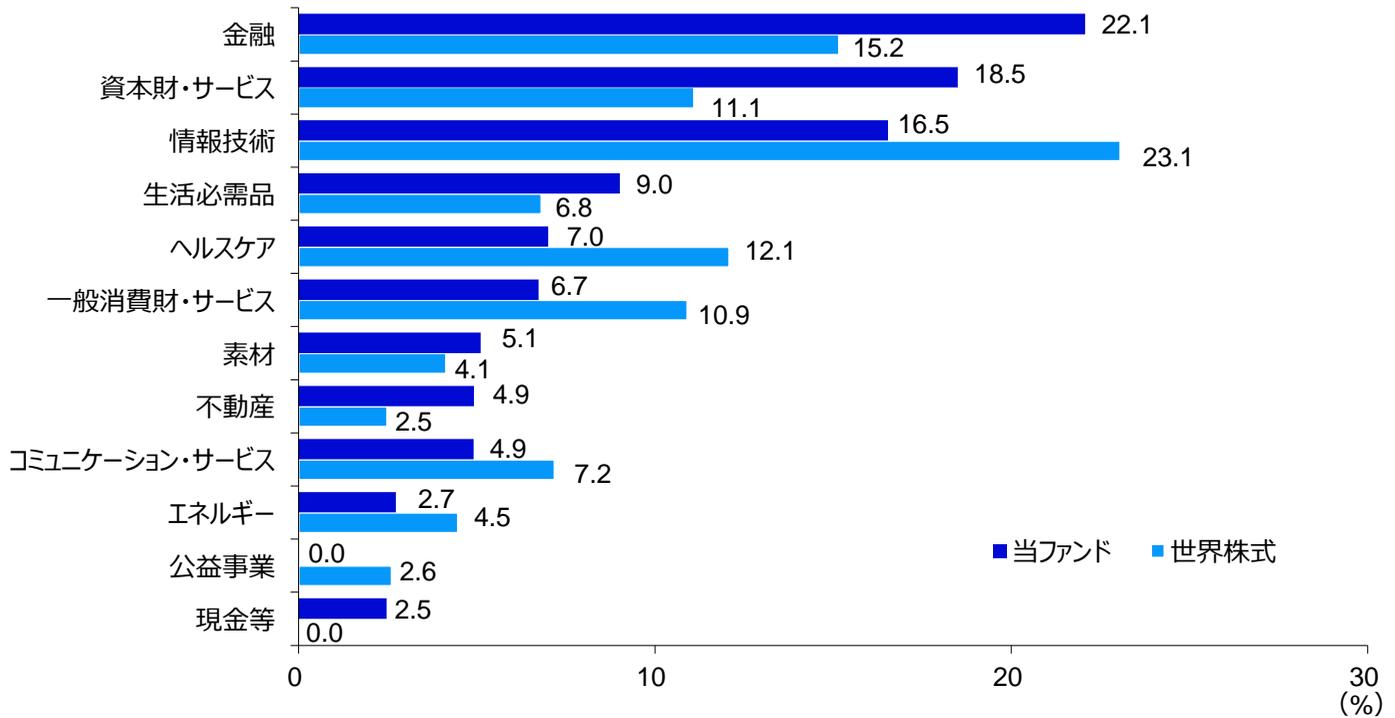
<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

3. ポートフォリオの状況①

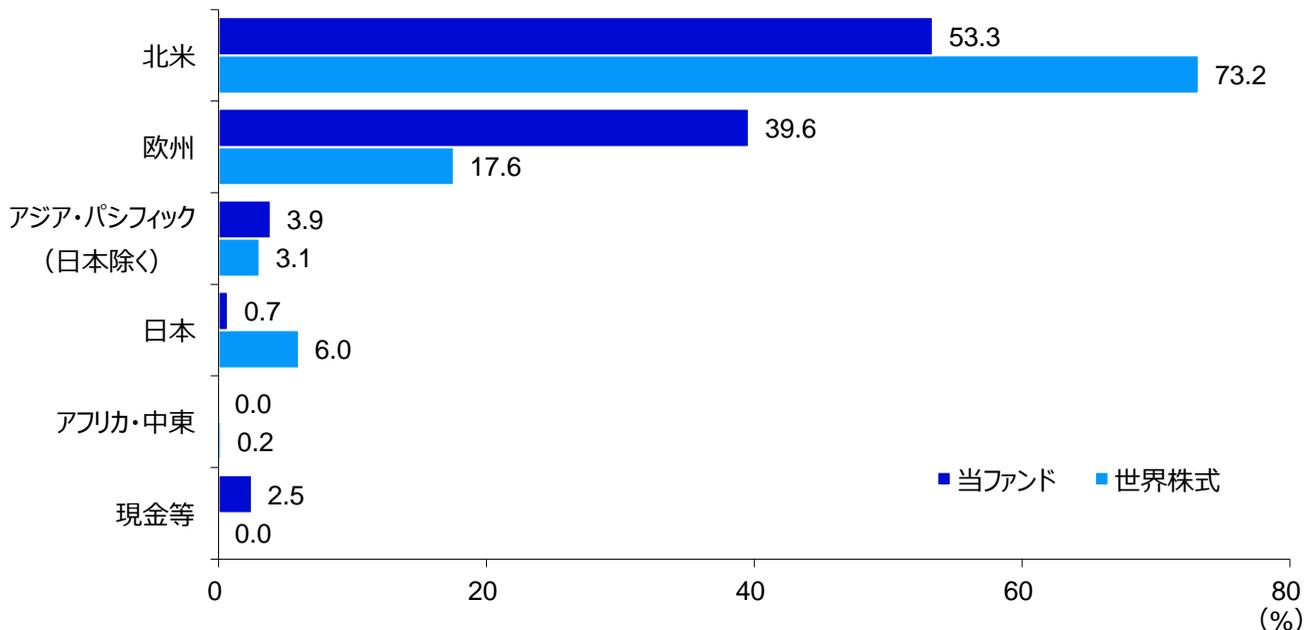
当ファンドと世界株式の業種別構成比率 (2023年12月末現在)

世界株式と比較して、資本財・サービスや金融、不動産などを高位に組み入れ
一方、情報技術やヘルスケア、一般消費財・サービスなどは低位の組み入れ



当ファンドと世界株式の国・地域別構成比率 (2023年12月末現在)

世界株式と比較して、北米と日本は低位、欧州は高位の組み入れ



出所：インベスコ、FactSet 世界株式：MSCIワールド・インデックス

当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。比率は対純資産比率です。国・地域は発行体の国籍（所在国）などで区別しています。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。四捨五入の関係上、合計が100%とならない場合があります。

当資料ご利用の際は、最終頁の「ご留意いただきたい事項」をお読みください。

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

3. ポートフォリオの状況②

当ファンドの組入上位10銘柄 (2023年12月末現在)

銘柄数 : 43

銘柄名	国・地域	業種	純資産比
1 3iグループ	英国	金融	5.5%
2 マイクロソフト	米国	情報技術	4.6%
3 ユニオン・パシフィック	米国	資本財・サービス	4.3%
4 ブロードコム	米国	情報技術	4.3%
5 テキサス・インスツルメンツ	米国	情報技術	4.0%
6 アゼリス・グループ	ベルギー	資本財・サービス	3.9%
7 アメリカン・タワー	米国	不動産	3.8%
8 ユナイテッドヘルス・グループ	米国	ヘルスケア	3.7%
9 ベラリア	フランス	素材	3.0%
10 友邦保険控股 (AIAグループ)	香港	金融	2.8%

〔ご参考〕当ファンドの特性値 (2023年12月末現在)

	当ファンド	(ご参考) 世界株式
予想1株当たり利益成長率 *	12.4%	12.3%
予想株価収益率 (PER) **	15.8倍	17.3倍
自己資本利益率 (ROE) ***	28.0%	21.8%

出所：インベスコ、FactSet * アナリストによる3-5年年率予想値等の集計値を使用 ** 1年先の予想1株当たり利益に基づく値を使用 *** 一般的に、企業が効率的な経営をしているかを判断する指標のひとつ

当ファンドの特性値は、マザーファンドの組入有価証券の比率で加重平均した値です。世界株式の特性値は、指数の構成比率で加重平均した値です。

世界株式：MSCIワールド・インデックス

当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。比率は対純資産比率です。国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。

上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり>（毎月決算型） / <為替ヘッジなし>（毎月決算型）

<為替ヘッジあり>（年1回決算型） / <為替ヘッジなし>（年1回決算型）

4. 今後の市場見通し・投資方針

今後の市場見通し

今後も変動性の高い市場環境を予想

米国の景気減速リスクや長期的なインフレ圧力などに注視が必要

- 世界の株式市場は、インフレ鈍化が明確となったこと、米連邦公開市場委員会（FOMC）で、2024年の利下げ実施が示唆されたことを受け、上昇に転じていますが、今後も景気減速リスク、インフレや金利見通しの変動リスク等からボラティリティ（株価の変動性）の高い展開が予想されます。
- また、インフレ率についてはピークアウトし、今後も低下していくと見込んでいますが、過去約30年間続いた低インフレ、低金利環境に戻る可能性は低いと考えられます。短期的には、エネルギー価格や住居費の上昇、長期的には、リショアリング（生産活動の自国への回帰）、団塊世代の退職による労働力不足、グリーン・エネルギー化の動き等がインフレ圧力となると想定されるためです。

世界の株式市場全体でみたバリュエーションは割安とはいえない水準、個別銘柄選択の重要性がより高まる環境 大型テクノロジー企業など時価総額上位銘柄への集中度合いの高まりには留意

- 世界の株式市場全体のバリュエーション（株価水準）は、PER（株価収益率）などの株価指標から見て、長期での過去平均よりもやや上に位置しており割安感がみられないことから、より個別銘柄選択の重要性が高まると考えています。
- また、2023年初来の世界的なAIブームを受け、世界の株式市場において米国の大型テクノロジー企業に投資家の資金が流れた結果、1999年～2000年のITバブル期並みに市場の時価総額が大型企業に集中している点にも留意が必要と考えています。

投資方針

個別銘柄選択の重要性がより高まる環境下、引き続き「成長」「配当」「割安」の観点から厳選投資

足元で割安度が高まるディフェンシブ銘柄、AIの活用拡大による恩恵が期待されるソフトウェア、半導体関連銘柄に着目

- このようにマクロ経済動向の不透明感、市場偏重リスク等を背景に、今後もボラティリティが高い展開が想定される環境下においては、ボトムアップで個別銘柄選定を行う当ファンドにとって、魅力的な投資機会を見つける好機であると考えています。
- 当ファンドでは引き続き、「成長」、「配当」、「割安」の3つの観点に着目し、世界のベストと考える企業に厳選投資を行います。足元では、世界経済のソフト・ランディングへの市場期待からシクリカル（景気敏感）銘柄、グロース銘柄に注目が高まる中で、投資を控えられ割安感が高まったディフェンシブ（景気動向に業績が左右されにくい）銘柄に着目しています。
- 具体的には、安定したキャッシュフロー創出力や魅力的な配当を継続しつつ、景気に影響を与えるリスクがある環境下でも、堅調な業績を見込める優良な日用品、医薬品関連企業等です。また、テクノロジー企業では、AI活用拡大の恩恵を受けるソフトウェア、半導体関連企業等に注目しています。

上記は2023年12月末時点における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。

当資料ご利用の際は、最終頁の「ご留意いただきたい事項」をお読みください。
お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

5. 毎月決算型の分配実績

1万口当たり分配原資（分配対象額）・分配金（課税前）・基準価額

<為替ヘッジあり> (毎月決算型)

分配原資（分配対象額）		
2023年12月25日現在		8,259円
決算日	分配金	基準価額
2023年1月23日	40円	11,942円
2023年2月24日	40円	12,097円
2023年3月23日	120円	11,706円
2023年4月24日	40円	12,038円
2023年5月23日	40円	12,169円
2023年6月23日	120円	12,104円
2023年7月24日	40円	12,445円
2023年8月23日	40円	12,026円
2023年9月25日	40円	11,930円
2023年10月23日	40円	11,463円
2023年11月24日	40円	12,225円
2023年12月25日	80円	12,836円
設定来累計	6,710円	

<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

分配原資（分配対象額）		
2023年12月25日現在		8,514円
決算日	分配金	基準価額
2023年1月23日	150円	8,356円
2023年2月24日	150円	8,591円
2023年3月23日	150円	8,148円
2023年4月24日	150円	8,531円
2023年5月23日	150円	8,759円
2023年6月23日	150円	9,045円
2023年7月24日	150円	9,196円
2023年8月23日	150円	8,954円
2023年9月25日	150円	8,859円
2023年10月23日	150円	8,483円
2023年11月24日	150円	9,047円
2023年12月25日	150円	9,051円
設定来累計	15,850円	

出所：インベスコ

分配原資（分配対象額）および基準価額は分配金落ち後のものです。上記分配金は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

ファンドの運用実績は、8ページをご確認ください。

また、後述の「収益分配金に関する留意事項」の内容を必ずご確認ください。

毎月決算型の分配方針

- 毎月23日（同日が休業日の場合は翌営業日）の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。
- 毎年3月、6月、9月、12月の決算時には、通常月の分配に加え、基準価額の水準等を鑑みて委託会社が決定する額を付加して分配を行う場合があります。
- 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- 分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。（分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。）

年1回決算型は、毎年12月23日（同日が休業日の場合は翌営業日）の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

<為替ヘッジあり>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（年1回決算型）の分配実績はありません（2023年12月末現在）。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

6. 基準価額変動要因
基準価額の変動要因分解

		(単位：円)	2023年10月	2023年11月	2023年12月	
毎月決算型	為替ヘッジあり	月末基準価額	11,331	12,252	12,904	
		前月末比変動額	-492	921	652	
		(変動要因)	株価要因	-389	1,013	782
		配当要因	12	20	29	
		為替要因	-53	-57	-62	
		分配金	-40	-40	-80	
		その他	-23	-15	-17	
	為替ヘッジなし	月末基準価額	8,371	8,960	9,106	
		前月末比変動額	-451	589	146	
		(変動要因)	株価要因	-287	746	568
配当要因		9	15	21		
為替要因		-6	-11	-281		
	分配金	-150	-150	-150		
	その他	-16	-11	-12		
年1回決算型	為替ヘッジあり	月末基準価額	11,347	12,315	13,048	
		前月末比変動額	-454	968	733	
		(変動要因)	株価要因	-392	1,020	780
		配当要因	12	20	29	
		為替要因	-51	-58	-58	
		分配金	0	0	0	
		その他	-23	-15	-19	
	為替ヘッジなし	月末基準価額	16,039	17,456	18,039	
		前月末比変動額	-570	1,417	583	
		(変動要因)	株価要因	-545	1,431	1,118
配当要因		17	28	42		
為替要因		-12	-21	-553		
	分配金	0	0	0		
	その他	-30	-21	-23		

出所：インベスコ

その他は、信託報酬等を含みます。基準価額の変動要因分解は、簡便的に算出した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。四捨五入の関係で変動要因の合計額が、基準価額の前月末比変動額と一致しない場合があります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

当資料ご利用の際は、最終頁の「ご留意いただきたい事項」をお読みください。

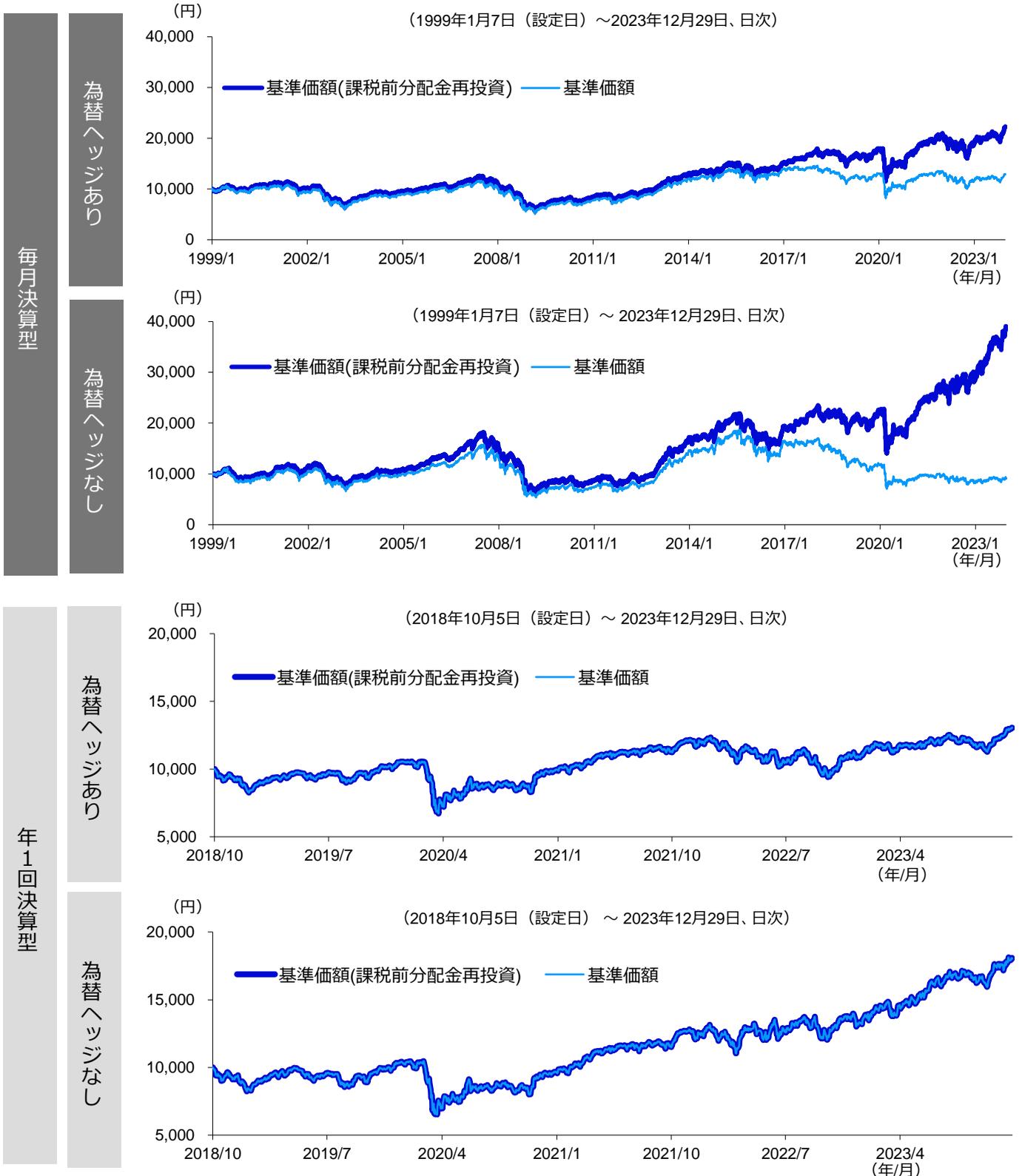
お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

7. 設定来の基準価額の推移



出所：インベスコ

基準価額は、信託報酬控除後のものです。分配方針についての詳細は、後述のファンドの特色をご参照ください。

上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料ご利用の際は、最終頁の「ご留意いただきたい事項」をお読みください。
お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり>（毎月決算型） / <為替ヘッジなし>（毎月決算型）

<為替ヘッジあり>（年1回決算型） / <為替ヘッジなし>（年1回決算型）

「世界のベスト」のポイント

「株式投資の王道」にこだわって世界のベストに厳選投資

日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自の視点で厳選した世界のベストと考える銘柄に投資を行います。「成長」+「配当」+「割安」の3つの観点に着目して投資を行うことを、当ファンドでは「株式投資の王道」と考えています。



日本において「25年超の運用実績」を誇る世界株式ファンド

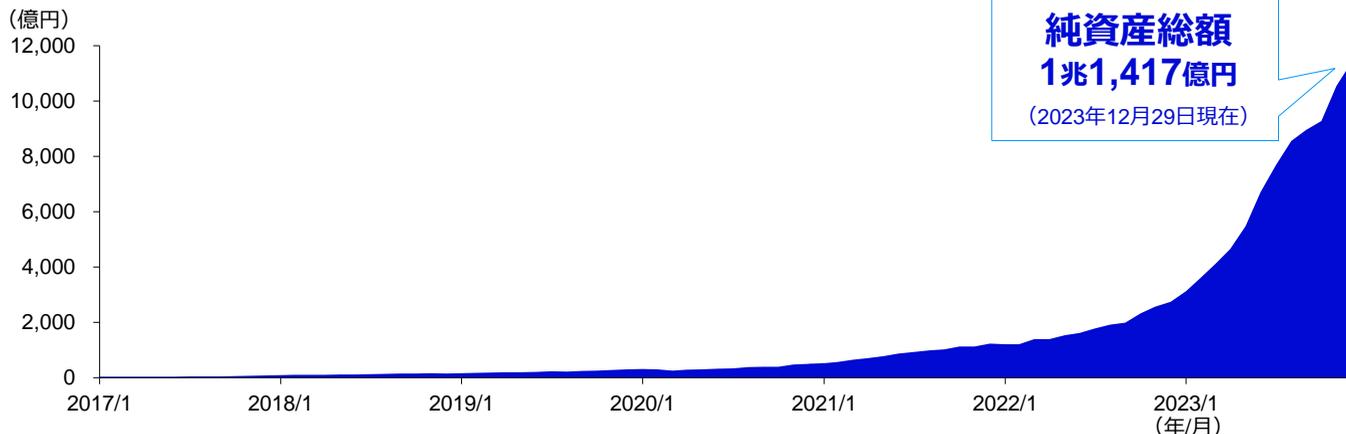
「インベスコ 世界厳選株式オープン <為替ヘッジあり>（毎月決算型） / <為替ヘッジなし>（毎月決算型）」は、1999年1月に設定され、2016年9月に決算頻度を毎月決算に変更、2017年1月より毎月分配を行っています。

また、「インベスコ 世界厳選株式オープン <為替ヘッジあり>（年1回決算型） / <為替ヘッジなし>（年1回決算型）」は、2018年10月に設定されました。

84カ月（7年）連続での純資金流入*を記録

「株式投資の王道」にこだわり長期の運用実績を誇る「世界のベスト」は、84カ月（7年）連続での純資金流入を記録しました。毎年の純資金流入額は2017年以降、年を追うごとに拡大しています。また、純資産総額は1兆円を超える水準まで増加しました。（2023年12月末現在）

「世界のベスト」の純資産総額の推移



* 純資金流入は、ファンドの設定額から解約額を差し引いたもの。 84カ月連続は、2017年1月から2023年12月まで（月次データ）。
 出所：インベスコ グラフ期間：2017年1月末～2023年12月末、月次データ 純資金流入の84カ月連続および純資産総額のデータは、「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり>（毎月決算型） / <為替ヘッジなし>（毎月決算型）」、「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり>（年1回決算型） / <為替ヘッジなし>（年1回決算型）」および「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり>（奇数月決算型） / <為替ヘッジなし>（奇数月決算型）」の合計です。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

ファンドの特色

- 主としてマザーファンド※1受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資します。
- 銘柄選択にあたっては、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価等ファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価等に基づくボトムアップ・アプローチにより行います。
- 為替変動リスクについて、毎月決算型および年1回決算型それぞれに対応の異なる2つのファンドがあります。
 - <為替ヘッジあり>では、実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
 - <為替ヘッジなし>では、実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。
- 毎月決算型は、毎月の資金受け取りニーズに対応したファンドです。
 - 運用を継続しながら、毎月一定水準※2の分配金を支払うことで、受益者の資金受け取りニーズに対応する商品です。
 - 分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。ファンドの分配方針に基づき、各期に支払われる分配金は、各期中に発生したファンドの投資収益の範囲内で支払われる場合のほか、投資収益の範囲を超えて支払われる場合があります。
 - 各期中に発生したファンドの投資収益の範囲を超えて分配金が支払われる場合は、前期までの繰越分などを加えて支払うことがあります。この場合、当期の分配金支払後基準価額が前期の分配金支払後基準価額と比べて下落します。詳しくは、後述の「収益分配金に関する留意事項」をご確認ください。
- <為替ヘッジあり>はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）※3、<為替ヘッジなし>はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）※3をベンチマーク※4とします。
- インベスコ・アセット・マネジメント・リミテッド（英国、オックスフォードシャー）に、マザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。

※1 ファンドが投資対象とするマザーファンドは、「インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド」です。

※2 毎月支払う分配金の水準は、委託会社が分配方針に基づき決定し、一定期間維持することを基本とします。ただし、委託会社は運用状況によりその水準の見直しを行います。また分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

※3 ◇MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）とは、MSCI Inc.が算出する基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）の数値です。MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）とは、MSCI Inc.が算出する基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース）の数値を、委託会社が基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）で独自に円換算したものです。◇MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が算出する株式インデックス（指数）の一つです。MSCIインデックスは、MSCI Inc.の知的財産であり、MSCIはMSCI Inc.のサービスマークです。◇この情報はMSCI Inc.の営業秘密であり、またその著作権はMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。また、ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。◇MSCIワールド・インデックスの構成国や構成銘柄等は、適宜見直しが行われます。したがって、ファンドの投資対象国および投資対象銘柄は事前の予告なく変更されることがあります。

※4 ベンチマークとは、ファンドのパフォーマンス評価やポートフォリオのリスク管理を行う際の基準となる指標のことです。ファンドは、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を得ることを目的としていますが、ベンチマークを上回る投資成果をあげることを保証するものではありません。

* 各ファンドのベンチマークは、2023年9月21日を変更適用日として、以下の通り「配当込み指数」に変更しています。

<為替ヘッジあり>

(変更前) MSCIワールド・インデックス（円ヘッジ指数）

(変更後) MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）

<為替ヘッジなし>

(変更前) MSCIワールド・インデックス（円換算指数）

(変更後) MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）

当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、複数のファンドを合同運用する仕組みで、受益者から投資された資金をまとめてベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して実質的な運用を行う仕組みです。

なお、ファンドは投資状況により、マザーファンドのほか株式等に直接投資する場合や、マザーファンドと同様の運用を行う場合があります。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

ファンドの投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。

基準価額の変動要因

ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

価格変動リスク	<p><株式> 株価の下落は、基準価額の下落要因です。 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績や財務状況、市場の需給などを反映し、下落することがあります。</p>
信用リスク	<p>発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。 ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。</p>
カントリー・リスク	<p>投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。</p>
為替変動リスク	<p><為替ヘッジあり> 為替の変動（円高）が基準価額に与える影響は限定的です。 為替ヘッジ（原則としてフルヘッジ）を行い為替変動リスクの低減に努めますが、為替変動の影響を完全に排除できるとは限りません。また、円金利が為替ヘッジを行う通貨の金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかります。</p> <p><為替ヘッジなし> 為替の変動（円高）は、基準価額の下落要因です。 為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。</p>

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンド固有の留意点

- ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。

投資信託に関する留意点

- ファンドの購入に関しては、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。
- ファンドにおいて短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合や市場環境の急激な変化等が生じた場合は、当初期待された価格や数量の有価証券等を売却できないことや取引に時間を要することがあるため、基準価額に影響を及ぼす可能性があります。また、これらの要因等により有価証券等の売却・換金が困難となった場合や、資金の受け渡しに関する障害が発生した場合は、ファンドの換金のお申し込みの受付中止（既にお申し込みを受け付けた場合を含みます。）や換金資金のお支払いの遅延となる可能性があります。
- マザーファンド受益証券に投資する他のペーパーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入る有価証券等の売買が行われた場合などには、組入る有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

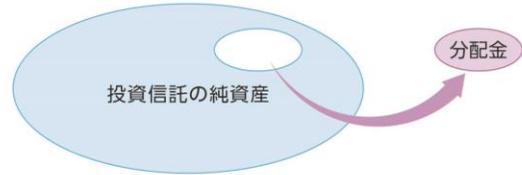
<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

収益分配金に関する留意事項

■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

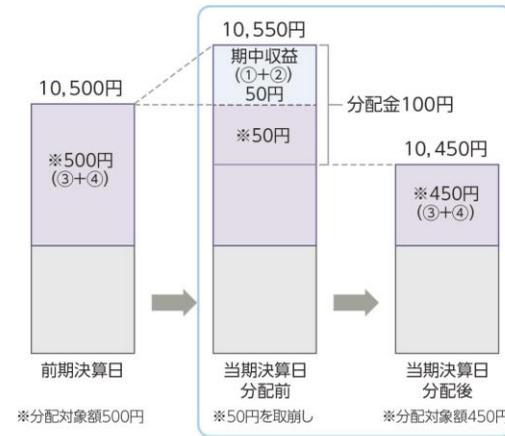
投資信託で分配金が支払われるイメージ



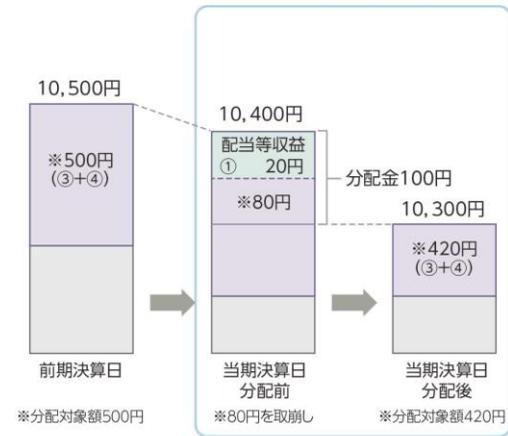
■ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合



■ 前期決算日から基準価額が下落した場合

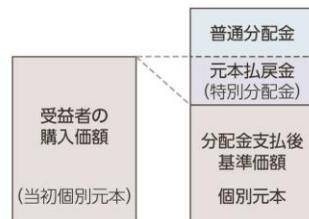


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

*上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

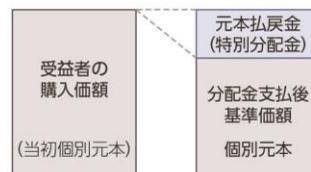
■ 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

■ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金	個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金)	個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

お申込メモ

購入単位	1万円以上1円単位 ※投資自動積立による購入は、1万円以上1千円単位 ※スイッチングによる購入は、1円以上1円単位
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金の申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
購入・換金申込不可日	—
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時まで(販売会社所定の事務手続きが完了したもの)
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
信託期間	■ 毎月決算型：無期限 (設定日：1999年1月7日) ■ 年1回決算型：無期限 (設定日：2018年10月5日)
繰上償還	■ 毎月決算型：信託契約の一部解約により、<為替ヘッジあり> および <為替ヘッジなし> の受益権の総口数の合計が40億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。 ■ 年1回決算型：信託契約の一部解約により、<為替ヘッジあり> および <為替ヘッジなし> の受益権の総口数の合計が40億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。
決算日	■ 毎月決算型：毎月23日 (ただし、同日が休業日の場合は翌営業日) ■ 年1回決算型：毎年12月23日 (ただし、同日が休業日の場合は翌営業日)
収益分配	■ 毎月決算型：毎月の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。 ■ 年1回決算型：年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、NISA (少額投資非課税制度) の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。年1回決算型は、2024年1月1日以降のNISAの「成長投資枠 (特定非課税管理勘定)」の対象となる予定ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除は適用されません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料 購入代金(購入金額(購入価額[1口当たり]×購入口数)に購入時手数料(消費税込)を加算した額)に応じて、以下の手数料率を購入金額に乗じて得た額

購入代金	手数料率
1億円未満	3.30% (税抜3.00%)
1億円以上5億円未満	1.65% (税抜1.50%)
5億円以上10億円未満	0.825% (税抜0.75%)
10億円以上	0.55% (税抜0.50%)

※スイッチング手数料はかかりません。※「分配金自動再投資型」において、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

信託財産留保額 換金の申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.30%**の率を乗じて得た額

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬) 日々の投資信託財産の純資産総額に**年率1.903% (税抜1.73%)**を乗じて得た額とし、信託財産中から以下の支払時期に支払うものとします。

■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。

■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6か月終了日および毎計算期末または信託終了時。

運用管理費用 (信託報酬) は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。

信託報酬の配分は、以下の通り (税抜) とします。

配分先	委託会社 ^{※1※2}	販売会社 ^{※3}	受託会社 ^{※4}
純資産総額	配分 (年率)	配分 (年率)	配分 (年率)
500億円以下の部分	0.83%	0.80%	0.10%
500億円超1,000億円以下の部分	0.78%	0.85%	0.10%
1,000億円超の部分	0.73%	0.90%	0.10%

※1 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価。

※2 委託会社が受け取る報酬には、マザーファンドの運用指図に関する権限の委託先への報酬が含まれています。

※3 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価。

※4 ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価。

当資料ご利用の際は、最終頁の「ご留意いただきたい事項」をお読みください。

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書 (交付目論見書)」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

ファンドの費用

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- その他の費用・手数料
- 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。
 - 監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して**年率0.11% (税抜0.10%) を上限**として、信託財産中から以下の支払時期に支払うものとします。
 - 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。
 - 年1回決算型：毎計算期間の最初の6か月終了日および毎計算期末または信託終了時。

* 上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。これらは三井住友銀行本支店等にご用意しています。
- 投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。
- 三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申込先）

- 受益権の募集・販売の取扱、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資に関する事務などを行います。



三井住友銀行

商号等 株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

- 当ファンドの照会先

商号等 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

電話番号：03-6447-3100 ホームページ：<https://www.invesco.com/jp/ja/>
（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

【ご留意いただきたい事項】

当資料は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。本文で詳述した当資料の分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と重要な差異が生じる可能性もあります。投資信託は、株式などの値動きのある有価証券など（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。これらの運用による損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。当ファンドの購入に関しては、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。当ファンドの購入のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時に販売会社でお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。